

2つの電子のスピン角運動量演算子(ベクトル) \hat{s}_1, \hat{s}_2 から合成される全スピン角運動量演算子(ベクトル) $\hat{S} = \hat{s}_1 + \hat{s}_2$ を考える。

1. \hat{s}_1^2, \hat{s}_2^2 の固有値を同じ $\hbar^2 s(s+1)$, ($s = 1/2$) と表し、 \hat{S}^2 の固有値を $\hbar^2 S(S+1)$, (S : 大文字) と表すとき、 S のとりうる値を記せ。
2. ベクトルの2乗は同じベクトルの内積であることを用いて、 $\hat{s}_1 \cdot \hat{s}_2$ を S, \hbar で表す式を求めよ。(スピン演算子の固有ベクトルに作用したと見なせ。)

(解答例)

1. 角運動量の合成則(ベクトル模型)と角運動量の量子化(離散性)、電子スピン $s = 1/2$ であることを考慮して、 $S = 0, 1$ である。
2. $\hat{S} = \hat{s}_1 + \hat{s}_2$ の両辺を2乗する(同じベクトルの内積をとる)と

$$\begin{aligned}\hat{S}^2 &= (\hat{s}_1 + \hat{s}_2) \cdot (\hat{s}_1 + \hat{s}_2) \\ \rightarrow \hat{S}^2 &= \hat{s}_1^2 + 2\hat{s}_1 \cdot \hat{s}_2 + \hat{s}_2^2.\end{aligned}\tag{1}$$

ここで、2つの電子のスピン角運動量演算子 \hat{s}_1, \hat{s}_2 の順序は可換であることを用いた。式(1)より、

$$\hat{s}_1 \cdot \hat{s}_2 = \frac{\hbar^2}{2} \left[S(S+1) - \frac{3}{2} \right]\tag{2}$$

となる。